

日本手話文法まとめ (2026-08-27)

- NM: 非手指表現 (Non-manual Markers)

代名詞・所有格・並列関係

- 基本文: /S + O + V △ (文末のうなずき)/
 - 話題化する要素に必ず t (眉上げ) をつける
- 指差し: PT1 (自分)、PT2 (あなた)、PT3 (①第三者、②物・話題・事柄・時間・空間・地位など: 対応する空間を指す)
- 所有格「私の○○」: 区切らずに一続きで表す
- 並列関係: /PT1 家族^t 父△ 母△ 弟△ PT1 △/
- 非利き手の指をつまむ/指差し、その後家族名や性別を並列で表す
 - /PT1 兄弟 4人/ / [4] PT 男△ PT 男△ PT 女△ PT 男△/

数字を含む手話「数+助数詞」

- ~人・時・月日・時間・年・分・日間・第~・週間・級・年間・年生・ヶ月・円
- 「○人」「○月」では非利き手で数字、利き手で助数詞を表すこともある
- 1~4 の数詞は横倒しにする (例: 第 1)

助数詞がない場合

- 名詞 (CL) + 数字: /歳 57/、/犬 2/、/箱 3/
- 名詞 + CL + 数字: /車 + 車 (実体 CL) + 5/

話題化 (topicalization): t (眉上げ + 小さいうなずき)

1. /ケーキ^t PT1 食べる/ (ケーキは私が食べる)
 2. /ケーキ 食べる^t PT1/ (ケーキを食べるのは私だ)
- t の位置で話題と焦点 (新情報) が決まる
 - 「話題」はすべての文にあるとは限らない

焦点を強調する構文

- 分裂文: /ケーキ 食べる^t PT1/
- WH 分裂文: /ケーキ 食べる 誰^{rhq} PT1/

Yes-No 疑問文: q (目見開き + あご引き)

- /PT[入]^t タナカ^q/ (あの人は田中さんですか?)
- 応答はうなずき (Yes) または首振り (No)

WH 疑問文: wh (目見開き + 細かい首振り)

- 日本手話では WH 要素が節末に現れる
- /ヒト-PT3 イル ヒト-PT3 ダレ^{wh}/ (あそこにいる人は誰ですか?)
- 疑問詞: 何・誰・どこ・いつ・いくつ・どちら (二択)・なぜ・どのように
- 日本語と手話で疑問詞が異なる場合がある (「所属学部はどこですか」→場所か内容かで選択)

WH 分裂文: rhq (目見開き + 首振り + 頭前)

- WH 疑問詞と後続語の間に間を置かない
- /斉藤 家 どこ^{rhq} 高崎市/ (斉藤さんの家は高崎市です)

否定表現 (⇔: 首振り)

1. 事実・出来事の否定: /ナイ₁[⇔]/
 - /鈴木^t 来る ナイ[⇔]/ (鈴木さんは来ていない)
 - 音韻変化により動詞の動きは小さくなる
2. 判断・一部否定: /チガウ[⇔](M:e)/
 - /PT3 河合 チガウ[⇔]_{M:e}/ (あの人は河合さんではない)
 - /毎日 勉強^t チガウ[⇔]_{M:e}/ (毎日勉強しているわけじゃない)
3. 経験否定: /ナイ₂(M:owa)/
 - /ビール 飲む^t イママデ ナイ_{M:owa}/
 - 一定期間していなかった場合も含む
 - /大学 卒業 後^t 会う ナイ_{M:owa}/ (大学卒業以来ずっと会っていない)
4. 意思否定: /ナイ₃(M:m)/
 - /本 難しい PT[本] 読む ナイ_{M:m}/ (この本は難しいので読むつもりはない)
5. 未完結 (できなかった): /デキナイ₂(M:pi, pa)/
 - /一日 仕事 終わり デキナイ_{M:pi}/ (丸一日仕事をしても終われない)
6. 能力・実施困難: /デキナイ₁/、/パー/
 - 外的原因による実施困難: /PT[空] 大雨 飛ぶ パー/ (大雨で飛行機が飛べない)
7. 単語に否定が組み込まれた表現
 - /不要/、/嫌い/、/無理/、/まだ/ など
8. /チガウ^q(M:pe)/の否定疑問文
 - /武居 生まれ 宮城 / チガウ?^q_{M:pe}/ (武居さんの出身地って宮城じゃない?)

可能表現・不可能表現

- /PT1^t 英語 本 △ 読む デキル △/ (私は英語の本が読める)
- /北海道 行く デキナイ[⇔]/ (北海道へ行けない)

要求表現

- /オネガイ/: 頭を前方へ、ハリのある素早い傾き
 - /PT3 本 持ってきて お願い 要求/ (あの本を持ってきてください)
- /カマワナイ^q/ (見開き・あご下げ)
 - /PT3 本 持ってきて 構わない? ^q/ (あの本を持ってきてくれますか?)
- 目上・お客様への要求: 頭を下げ、肩をすぼめる (丁寧表現)

命令表現

- 普通の命令: 素早い文末うなずき + 手指のハリ
 - /教科書 モッテ△ 命令/ (教科書を持ってきなさい)
- 強い命令: 素早いあご上げ→戻し
 - /宿題 スル△ 命令: 強/ (宿題をやりなさい!!)
- 要求・命令 NM ははっきりと表現する

禁止命令：動詞＋/キンシ/または/ヤメテ/

- ・ /歳 5 以下 子供^t 入る キンシ/ (5 才以下の子供は入ってはいけません)

命令への応答

- ・ 承諾：うなずき、または/了解/ (胸に手を当てる)
- ・ 承諾しない：手振り「～しません」
- ・ 不可能：/ムリ/など

程度を表す表現

1. 副詞的表現

- ・ 手指のハリ・強弱・NM で程度を表す
- ・ 例：「疲れた」 手指と NM で疲れ具合が変わる

2. 段階的形容詞

- ・ /大きい/~/小さい/、/上手/~/下手/など
- ・ 強調時にはマウスジェスチャー (ho, hee など) をつける
- ・ 例：価格が高い (ho)、安い (hee)
- ・ 段階性を持たない形容詞にも特定の口型がつくことがある (例：/嬉しい/= ho、/悲しい/= hee)

3. 距離の程度

- ・ 近い：素早い動き
- ・ 遠い：目を細め、タメをつけてから動かす

動詞

1. 無変化動詞：/待つ/、/探す/、/知る/、/思う/、/わかる/など。主語・目的語は他の語や指さして示す
2. 空間動詞：/行く/、/移動する/、/引越す/など。場所の移動情報を含む
3. 一致動詞：/見る/、/言う/、/渡す/など。動きの起点・終点に主語・目的語情報が含まれる

名詞と動詞

- ・ 動詞は動作が大きく、動きに連続性がある
 - － 例：イス vs 座る、車 vs 運転する

文末の指さし：主題・話題と一致する空間を指す

- ・ 例：/PT1 写真 トル PT1/ (私は写真を撮影する)
- ・ 文脈で明らかな場合は省略可能

自動詞・他動詞：文末指さしで区別

- ・ 「壊れる」 (自動詞)
 - － /PT1 傘 ハカイ M:pa PT3[傘]/ (私の傘が壊れた)
- ・ 「壊す」 (他動詞)
 - － /PT1 傘 ハカイ M:pa PT1/ (私が傘を壊した)

受け身：文末指さしで主体 (誰が) を示す

- ・ 受け身の主語になれるのは人間のみ (モノは不可)
- ・ 一致動詞の例「言う」：
 - － 能動：/父 私 言う PT3[父]/ (父が私に言う)
 - － 受身：/私 父 言われる PT1/ (私が父に言われる)

テンスとアスペクト

- ・ 胸前＝現在、体の前＝未来、後ろ＝過去
- ・ NM でより詳細な時制を表現 (例：だいぶ前＝タメ＋大きい動き、ちょっと前＝素早い小さな動き)

過去・完了：M:pa または/オワリ (M:pa) /を追加

- ・ 例：/昨日 家 出る M:pa/ (昨日家を出た)
- ・ 「作る」「飲む」などは M:pa 不可

未来語彙：/明日/、/来年/、/目標/、/予定/

- ・ 例：/制度 シッカリ 目標 ヤル/ (体制を強化する)

アスペクト (相)

- ・ 継続：/中/を動詞の後につける
 - － 例：/PT3 来る 待つ 中/ (彼が来るのを待っている)
- ・ 未完了：/マダ/を動詞の後につける
 - － 例：/雨 止む マダ/ (雨はまだ止まない)

語彙的アスペクト

- ・ 状態動詞：/ある/、/いる/、/要する/ (手の動き小さく、繰り返し消失)
- ・ 継続動詞：/読む/、/書く/ (繰り返しの弱化・空間活用)
- ・ 瞬間動詞：/死ぬ/、/消える/ (1 回の大きな動き、ハリ)

空間の利用

- ・ 物理的な空間利用 (例：道案内・建物内の案内)
 - － /教室 PT[後ろ]^t スクリーン アル△/
- ・ 社会的な空間利用 (例：上司を上・部下を下)
- ・ 図式的な空間利用 (例：比較・対比表現)
 - － /高崎市 人口 数^t 37 万△ 前橋市^t 33 万△ 高崎 上 (両手で比較) △/

対事的モダリティ：命題に対する話者の判断 (蓋然性)

- ・ /カモ/ (かもしれない) など

対人モダリティ：聞き手への働きかけ

- ・ 命令、勧誘、依頼、同意など
- ・ NM で強弱を表す
- ・ 例：/今度 ミスタードーナツ 一緒 行く？ /
 - － 見開き＋頭上げ＋大きなうなずき＝勧誘

勧誘・意思表示

- ・ 「～しよう」：頭を前に素早く出して止める
- ・ 意思のモダリティ：/目標/、/決める/、/決心/を使う (/思う/には決意が含まれない)

推奨・許可・禁止・義務

- ・ 推奨：/ヨイ/
- ・ 許可：/カマワナイ/
- ・ 禁止：/アウト/
- ・ 義務：/ヒツヨウ/、/キソク/

動詞連続構文

- ・ 動作主の行為 (他動詞) ＋ 結果 (自動詞) の因果関係を示す

- 例：「電気をつけた」
 - － /スイッチを押す-CL 電気がつく-CL/
- 例：「やかんのお湯を沸かす」
 - － /やかんを置く-CL ガスのつまみを回す-CL 火がつく-CL/

順接：hn（頭を前に出した後、大きな頷き）

- 「昨日雨が降ったので、試合は中止になった」
 - － /昨日 雨^{hn} 試合 中止/

逆接 1：hn'（頭を後ろに引いた後、大きな頷き）

- 予想・期待に反する場合
- 「少ししか食べていないのに、太った」
 - － /食べる 少ない^{hn'} 太る/

逆接 2（単なる対比）：/でも/

- 「学費は高いが、学ぶ価値がある」
 - － /PT3 大学 払う 金 高い 確か△ でも 学ぶ 内容 優れている 高い 合う△ PT3/

条件構文：cond（眉上げ+頷き）

- 「私が市長になったら子育て支援をがんばる」
 - － /今度 市長 選ばれる M:pa^{cond} 子育て支援 頑張る/

文末コメント：話者の感想・判断・命令などを表す

- あごの位置でニュアンスが変わる：
 - － 前に出す：なるほど、そうなのね
 - － 後ろに引く：え～、いや...
- 肯定的評価：/ヨイ/、/オモシロイ/、/ツヨイ/、/スゴイ/、/カンドウ/、/スムーズ/など
 - － /PT3 本^t 安い ヨイ△/（この本、安いなあ！）
- 否定的評価：/ダメ/、/ツマラナイ/、/ナットクシナイ/、/ワカラナイ/、/アキル/、/フマン/など
 - － /片付け^t きちんと ない ダメ/（ちゃんと片付けられていないじゃないか）
- その他：/フツウ/（当然）、/ホッ/（安堵）、/ヘエ/、/オドロク/、/オーバー/（ありえない）など

関係節（連体修飾節）

- 「息子は父が買った自転車に乗っている」
 - － /息子^t △ [父・自転車・買う△] 乗り回す/
 - － ・：うなずき・頭の動きはない

補文構造：補文標識（うなずきや指さし）を使う

- 「たまごっちが人気を博したのは90年代のことだ」
 - － /たまごっち [みんな・PT[たまごっち]・人気] 90年代 時/
- 「姉は私が先にアメリカへ行ったことを不服に思っている」
 - － /姉 [PT1・アメリカ行く・先] 不満 PT[姉]/

CL（類別詞：Classifiers）

- 対象の種類・形状・動き方などを分類する表現

SASS（形状・サイズ・質感：Size and Shape Specifiers）

- 同じ種類のモノでも形状や質感で表現が変わる
- 例：円、三角形、四角形など

- サイズはNM（目細め・肩すぼめ）で調整

操作 CL：動作主が対象を操作する様子

- 「食べる」でも、ステーキ・そば・スープ・ぶどう・りんごで手形・動きが異なる
- /食べる/(辞書形)→何を食べるか限定しない

実体 CL：人・場所・乗り物などの実体を表す

- 例：「人」の実体 CL：
 - － 脚部：歩き方、ぶらぶらしている様子
 - － 頭部：顔の向き、肯定・否定、向き合い
 - － 全身：立っている、来る・離れる、孤立
- 人数を表す CL：
 - － 一人で行く、二人で行く、大勢で来るなど
- 車の動き（山道、渋滞、衝突）
- 駐車場の車、花壇、本の積み重ね、バイクのカーブ、包丁立てなど

語彙化した CL

- SASS 由来：皿、コップ、マスク、メガネ
- 実体 CL 由来：びっくり、水泳、渋滞、秋田
- 操作 CL 由来：駅、トラップ、バレー、カバン
- 複合：サッカー(SASS+実体 CL)、大工(SASS+操作 CL)

CL に付随する副詞的意味

- CL 動詞の動きのハリ・強弱・NMで「どっと」「じわじわ」などを表現
- 例：/会場 集まる/（どっと押し寄せる）
- 位置関係：テーブルの上・下なども CL で示す

RS 表現（Referential Shift）

- 1人で複数の話者の役割を演じる表現
- 行動型 RS：過去の自分や他人の行動を再現
 - － 例：/PT1^t オフロ ヒサシブリ ツカルキモチ イイ/（久しぶりに湯船に浸かった）
- 引用型 RS：発言や考えを引用
 - － 例：/アサ タベル オワリ?^a オワリ_{pa} コタエ PT3/（「朝ごはんを食べた？」と聞いたら「食べた」と答えた）
- RS 部分は視線・頭の動きで区別する（体の向きではない）

使役文：引用型 RS を使って使役を表す

- 使役者の行為（発言）+被使役者の行為（発言）
- 強（命令）：母が倒れ、息子に救急車を呼ばせた
 - － /母 倒れた M:pa 息子 (自分):【救急車 電話 命令】 (息子):【分かった】 電話 M:pa PT[息子]/
- 中（依頼）：父が母にお茶を持ってこさせた
 - － /父^t 母 (父):【お茶 持ってくる お願い】 (母):【分かった】 持ってくる PT[母]/
- 弱（勧誘）：弟は先輩に誘われて入部した
 - － /先輩^t 弟 (先輩):【サッカー部 入る 勧誘】 (弟):【構わない】 入った M:pa PT[弟]/